

下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議

設置趣旨

令和 7 年 1 月 28 日に埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因すると考えられる大規模な道路陥没事故が発生し、トラック運転手が死亡するとともに、約 120 万人に下水道の使用自粛が求められるなど、重大な社会的影響が生じた。

事故を受け国土交通省が設置した「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」が令和 7 年 5 月 28 日にとりまとめた第 2 次提言では、地下空間の安全性の確保を目的とした技術や点検・調査等を自動化する技術の高度化・実用化に取り組むべきとされた。

この提言を踏まえ、管路メンテナンスの高度化に資する技術の現場実装・普及に向けて、自治体や業界団体等の各関係機関が連携して、技術的課題に基づく開発目標の設定を行うとともに、開発された技術が確実に現場実装されるためのビジネスモデルと図書・基準類を検討し、それらの作成の役割分担とスケジュールを検討するため、「下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議」を設置する。

○主な検討項目

- 1) 技術的課題の見える化と開発目標の設定
- 2) 調達環境整備に関するロードマップの策定
- 3) ロードマップの進捗状況のフォローアップ